

(様式6)

[認知症対応型共同生活介護用]

### 1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成20年8月18日

#### 【評価実施概要】

事業所番号	2875100873		
法人名	株式会社 アクティブライフ		
事業所名	アクティブライフ神戸		
所在地	神戸市中央区籠池通り2丁目2-10 (電話)078-271-0500		
評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-102号		
訪問調査日	平成20年7月15日	評価確定日	平成20年8月28日

【情報提供票より】 (20年6月30日事業所記入)

#### (1) 組織概要

開設年月日	平成13年7月13日		
ユニット数	3ユニット	利用定員数計	27人
職員数	22人	常勤	21人, 非常勤 1人, 常勤換算 21人

#### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り
	4階建ての2.3.4階部分

#### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	318,450円	その他の経費(月額)	33,000円	
敷金	有(円)		無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	210円	昼食	420円
	夕食	525円	おやつ	105円
	または1日当たり		円	

#### (4) 利用者の概要 (6月30日現在)

利用者人数	26名	男性	2名	女性	24名
要介護1	1	要介護2	6		
要介護3	6	要介護4	9		
要介護5	4	要支援2			
年齢	平均 86.3歳	最低	76歳	最高	98歳

#### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 竹内内科 竹内歯科医院
---------	--------------------

#### 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは神戸の山の手に位置し、周辺には公園・美術館・大学等が点在している。建物屋上からは神戸港や緑豊かな六甲山等が一望でき、中庭では樹齢100年以上ともいわれる楠木をシンボルツリーとし、四季の変化が楽しめる草花が植えられ、入居者は散歩やガーデニングを楽しんでいる。開設後7年の経過の中で入居者はゆったりとした時の流れを感じながら心豊かに暮らしている。安心と尊厳のある生活を大切に、職員の言葉掛けはやさしく穏かで入居者一人ひとりの個性を尊重した対応を心掛けている。アクティビティとして習字・フラダンス・歌の会などのクラブ活動や日々の楽しみ事があり、入居者の潜在化している記憶や力量が活かせる場面を提供している。

#### 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	前回の評価についてはホームミーティング等通じて評価結果、及び改善に向けての取り組みを話し合い具体的な改善に取り組んだ。また、運営推進会議においても評価結果を報告し、改善点についての説明を行った。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)
	自己評価については、ユニットごとに現場で業務に就いている職員の意見をリーダーが吸い上げてまとめ、管理者と協議していく取り組みを行った。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)
	運営推進会議は2ヶ月に1回定期開催が円滑に行われている。今年度より当事業所以外のグループホーム管理者も知見者として参加がありそれぞれの立場から意見、要望を出し合い検討する場となっている。討議内容も、利用者の状況報告や新たな取り組みのほか、福祉用具について、身体拘束についてなど、共に認識しておきたいテーマも議題として取り上げている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)
	入居者の状態は家族面会時や電話で伝えると共に、毎月1回文書で報告している。年1回の家族アンケート、また家族会や運営推進会議でも率直な意見・苦情を聴きサービスの質向上につなげている。「苦情マニュアル」も作成され、苦情などの対応結果を家族に説明し、日誌記録にも残しているが、意見・苦情報告書の様式を作成されることも望まれる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)
重点項目	地域住民とは生花のおすそ分けなど自然な形で交流が行われている。また、近隣の盆踊り大会やバザーなど参加すると共に、ホームの夏祭りや餅つき大会への地域住民の参加も継続的に行われている。宅急便の取り扱い窓口、市バス乗車券販売請負、またAEDを設置するなど近隣の住民が気軽に立ち寄りやすいよう積極的な取り組みも見られる。

## 2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1.理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時より「ご入居者が主人公・生きがいのある生活・尊厳を保つ・地域社会と共に」とホーム独自の4つの理念をつくり上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月1回のミーティング、毎月曜日の朝礼にて理念を職員と管理者が共に意識して確認を行っている。また介護計画作成時においても理念が反映された計画になるよう話し合われている。理念は各フロアにわかりやすく工夫して掲示されている。		
<b>2.地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の盆踊り大会やバザーなどに参加すると共に、ホームの夏祭りや餅つき大会への地域住民の参加も継続的に行われている。宅急便の取り扱い窓口・市バス乗車券販売請負、またAEDを設置するなど近隣の住民が気軽に立ち寄りやすいよう積極的な取り組みも見られる。日常的には地域住民と生花のおすそ分けなど自然な形で交流が行われている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回の評価については管理者・職員はミーティングを通じて評価結果について意見交換を行い改善に向けての取り組みを話し合った。自己評価作成にあたり管理者が第三者評価の意義を説明し、ユニットごとに現場の職員の意見をリーダーがまとめ、管理者と協議し完成させた。</p>		
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月に1回定期的を実施し、今年度より当事業所以外のグループホーム管理者も知見者として参加がありそれぞれの立場から意見、要望を出し合い検討する場となっている。ホームの理念や方針・第三者評価結果・利用者の状況などを報告し参加メンバーから率直な意見をもらうことでサービス向上に具体的に活かしている。また福祉用具について、身体拘束についてなど、共に認識しておきたいテーマも議題として取り上げている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>認知症介護実践者研修の施設実習・地域密着型サービス第三者評価調査者養成研修訪問調査実習の受け入れを行っている。また、ホーム代表者の神戸市シルバーサービス事業者連絡会参加もあり、より積極的な関係づくりが行われている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者の状態については家族面会時や、必要であれば電話で伝えると共に、毎月1回報告レターとして日常生活の様子や健康管理について報告している。職員の異動については所長異動のみ書面で家族に報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年1回法人内の本社管理のもとでの家族アンケート、また家族会及び運営推進会議でも率直な意見、苦情を聴く機会を設けることで、サービスの質向上につなげるようにしている。「苦情マニュアル」が作成されている。		苦情などの対応、結果を家族に説明し、日誌記録にも残されているが、利用者、家族にどう対応したかという意見、苦情報告書の様式を作成されることも望まれる。
9	18	職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内での管理者の異動はあるが、その都度家族には報告し、家族会においても伝えるようにしている。また利用者へ不安を与えないよう職員の写真を各フロアに掲示する工夫も見られる。職員に対しても面接の機会もち、気持ちをくみ取ることによって働きやすい環境づくりができています。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じた育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	今年度から同法人内の研修センターを活用し、全職員が各段階に応じた介護研修を受けるシステムをつくることで確実にスキルアップにつながるよう育成計画が立てられている。また法人内での事例発表会を継続すると共にホーム内のミーティングでも独自の困難事例検討も行っている。極力参加出来るよう勤務調整を行い勤務時間内で研修をすすめている。外部研修では認知症実践者研修への参加もあり、スタッフが希望する研修についてもできる限り受講できるよう支援している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>認知症介護実践研修の実習受け入れ施設であるため、他ホーム職員との交流がある。今年度より運営推進会議の構成員に知見者として他グループホーム管理者の参加があり、また反対に先方施設の運営推進会議にも参加し相互訪問することで、情報交換もでき、サービスの質の向上にもつなげている。</p>		
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に本人や家族の意向を把握するため自宅訪問やホーム見学が出来る体制がある。また同じ建物内にあるデイサービスを利用していただき施設の環境に馴染んでいただいたうえで入居へと進めることもでき、体験入居も出来る。入居後も本人の様子を観察し、必要時には家族と過ごす時間を増やしたり家族と共に宿泊するなど実施している。</p>		
<p><b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b></p>					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者に支援していただいたことに対し感謝の言葉を表せる機会をたくさんつくことで利用者自身ができることを増やしていくようにしている。多趣味な方が多く、自然な形で職員が教えてもらっていることが多い。また利用者から服装や礼儀など社会人マナーの注意を受けることもあり、なじみのある環境だからこそできる関係が築かれている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p> <p><b>1.一人ひとりの把握</b></p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時に生活歴、趣味など本人の全体像を把握し、その人らしいホームでの暮らしにいかせるよう支援している。入居後もミーティング、状況記録等を通じて職員間で情報を共有している。コミュニケーションが困難な方にもセクター方式のシートを活用し本人本位に検討している。</p>		
<p><b>2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族の意向をもとに担当スタッフが介護計画を作成し、その後スタッフ全員で検討している。作成された介護計画は家族に配布し随時同意を得ている。また書式の中に家族に意見、要望を記入できる欄が設けてあり、家族の思いも把握し、計画に反映していくよう取り組んでいる。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居者の状況変化や家族の要望があれば柔軟に見直しを行うと共に、定期的には3ヶ月に1回の見直しを基本としている。日常のケアが介護計画に沿って行えているか、月1回のミーティングで確認を行っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援  利用者や家族の状況、その時々 <sup>の</sup> 要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	協力医やかかりつけ医への通院介助は職員が付き添い、入居者の健康状態について担当医や家族と情報を共有している。入居者の入院時のお見舞いや洗濯物の管理等を支援し、早期退院に向けて病院関係者との連携を図っている。福祉用具について入居者や家族の要望に応じて福祉用具販売業者等の情報を提供している。		
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医は24時間体制で入居者の健康管理に取り組んでいる。かかりつけ医や専門医等への通院介助はフロアリーダーが中心となり同行し、医師との話し合い、家族への報告を行っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居者の重度化に伴い、ホームとして、できる事・できない事を明確にしている。入居者の状態変化に応じて、家族や担当医と話し合いを重ね共通認識を持つよう取り組んでいる。必要時は家族にターミナルケアについてホームの方針を文書にて説明している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1.その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>「尊厳を守る」の理念のもと職員の言葉掛けは穏かで、入居者一人ひとりの個性を尊重した対応を心掛けている。法人研修の中でマナー研修・個人情報保護についての研修を実施している。入居者のプライバシーを損ねないようなケアを実践していく為に、ケアプランへ反映していくよう取り組んでいる。記録等はスタッフルームで行い、書類は鍵のかかる場所に保管している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者のできる事・関心のある事を理解し、一人ひとりの意向に沿えるよう努めている。入居者の心身の状態の低下等にも配慮し、個々の希望は個別化して対応していくようになった。季節や本人の体調によって起床時刻・入浴時間・アクティビティへの参加等は個々のペースにあわせている。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事作りは厨房が主体となっていない、ホームでは配膳や下膳・食器洗い等について入居者の状況に応じて職員と共同で行っている。誕生日に入居者の希望を聞きメニューに反映したり、「郷土料理を楽しむ会」や「モーニングカフェ」等イベント食として企画し食環境に変化を持たせている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望の時間や健康状態に配慮し入浴できるよう取り組んでいる。拒否傾向のある入居者は無理強いせず、足浴や清拭で補い、タイミングを見ながら勧めている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	習字・フラダンス・歌の会などクラブ活動等のアクティビティへの取り組みに工夫が見られ、洗濯物を干してたたむ・配膳を手伝う・居室の清掃等の役割についても、入居者の潜在化している記憶や力量が活かせるよう場面作りを工夫している。		
25	61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常での入居者の希望を把握し買物や散歩の支援を行い、身体状況にそって中庭散策により気分転換を図ってもらっている。個別で介護計画にあげて実施している入居者もいる。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は開錠し家族等が気軽に来訪ができるよう配慮している。各ユニットのエレベーターの使用は、必要な操作を要する為、現在は入居者の中で理解できる人が利用している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回の消防訓練は、夜間を想定し入居者の参加がある避難訓練となっている。運営推進会議で消防訓練について状況を報告し、地域の協力体制の整備については現在検討中である。災害に備えて食料と飲料水の備蓄がある。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事ミーティングを定期的実施し入居者や職員の要望・気付きを伝えている。日々の食事摂取量は記録に残している。水分摂取量は身体状況に応じて必要時にはPC上で管理・分析し健康面の把握に活かしている。入居者の身体状況に応じて食材の形態への工夫がある。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間の壁には絵画を飾り、各箇所には季節の花や観葉植物を置き家庭的な雰囲気大切にしている。屋上では洗濯物を干す・野菜を育てる・花火大会の見物・海や山の景色を楽しむ等入居者の気分転換の場になっている。ユニット入り口には職員の顔写真を掲示し、入居者や家族との馴染みの関係が継続できる様工夫している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前に自宅を訪問し、ホームでの暮らしと今までの生活との違和感を少なくしていくよう努めている。家族の協力のもと仏壇・お茶の道具・趣味の作品等持ち込み落ち着いて過ごせるよう配慮している。家族の宿泊には居室を利用してもらうよう勧めている。</p>		

は、重点項目。